指定共同生活援助事業所ウイングハート

令和７年度地域連携推進会議議事録

法人名	社会福祉法人まつさか福祉会
事業所名	指定共同生活援助事業所ウイングハート（介護サービス包括型）
施設名	ウイングハート（7名）、かどやホーム（4名）、「ま・さ・る’ず」ホーム（4名）、れいんぼーホーム（4名）、ひおかホーム（4名）、
開催日時	令和７年９月25日（木）15：00～16：25　16：50から各施設訪問
開催場所	向野園生活支援スペース
構成員	入居者の代表　・・・・・・・・・・1名 入居者家族の代表　・・・・・・・・1名 地域関係者　・・・・・・・・・・・2名 福祉に知見のある方兼地域関係者　1名 【施設職員】 管理者、地域生活支援マネージャー、地域生活支援員
１．開会あいさつ （趣旨説明）	地域連携推進会議の趣旨として、施設の運営にあたり地域の皆様方から理解・連携をいただくことにより、施設入居者と地域の方々との関係作り、そして地域の方々への施設や入居者への理解の促進を目的としております。さらに本日の会議の構成員の皆様が「地域連携推進委員」として施設を訪問していただき、外部の目から見た気づきなどご意見等をいただく中、事業運営の一助となることが期待されているところであります。 このような外部の方を構成員とした本日開催する「地域連携推進会議」を定期的に開催することが義務付けられ、本日の会議が第１回となります。本日は　さらなる、支援サービス向上のためなど忌憚のないお意見等をいただきたいと存じます。 尚、委員皆様方の参加承諾書にもありましたように本日の会議で知り得た個人情報等については、外部に漏らすことがないようご配慮ください。資料の中に個人情報が含まれている場合は終了後回収させていただきます。そして、本会議の会議録を作成し、ホームページ等で公開することが義務付けられておりますのでご了承を賜りたいと存じます。

２．出席者の紹介	入居用者の代表１名、入居者家族の代表１名、地域関係者２名 　地域関係者兼福祉に知見のある方１名 ・施設職員　　管理者、地域生活支援マネージャー、地域生活支援員 　　以上を報告する。 　管理者より、添付資料「法人の組織および事業概要」並びに「グループホームの概要」を基に説明を行う。内容省略。
３．議 題 （１）施設等・地域の連携	① 入居者の障がい状況等について ・支援内容 「令和７年度事業計画書の基本方針と重点目標」、「令和６年度事業報告書の事業成果と生活支援状況」を基に説明を行う。内容省略 ・世話人・支援員の体制 直接契約雇用 14 名、業務派遣職員 20 名（シルバー人材センター）を配置し、「グループホーム世話人勤務割表」、「グループホーム夜勤体系」にて説明する。内容省略。また、グループホーム別スタッフ会議を開催し、支援の統一性を図っていることなどを報告。 ・支援区分 「グループホーム利用者の状況」にて説明。内容省略 ・就労状況（日中活動サービス事業所） 「グループホーム利用者の状況」にて説明。内容省略 ②近隣からの苦情等について ・近隣宅を訪れ唐突に女児に話かけ不安にさせたり、隣家の赤ちゃんの姿を覗き込み不信感を抱かすなどの事案があった。その都度、当該者に事情を聴く中、対人関係の対応などについて指導や助言を行い、相手さまにも理解を求めることなどの対処を行ってきた。 ③地域行事への参加について ・「令和７年度事業計画書の年間行事計画表」の地域での取組みを説明。内容省略
（２）施設等やサービスの透明性・質の確保	① 入居者の日常生活の様子について ・「令和７年度事業計画書の重点目標」、「令和６年度事業報告書の生活支援状況」および「共同生活援助日誌」により実例を報告する。グループホームの入居者は、日中は各事業所へ通所している。休祝日の昼間も世話人が常駐しているのが基本である。休日は、単独で外出可能な方は自転車やバスなどを

	利用商業施設等へ出掛けている。単独での外出が難しい方は、居宅介護事業所のヘルパーを利用し、買い物やドライブなどのサービスを受けている。また、休祝日の昼食は、世話人が同行し、近隣のスーパーで購入することを基本としている。 ② 経営状況の報告について ・「令和６年度決算の社会福祉事業区分　資金収支内訳表　共同生活援助」と「グループホーム生活費収支集計表」、「入居費用一覧表」で説明。内容省略 ③ 業務継続計画（BCP）の策定状況について ・感染症や自然災害が発生時において、入居者に対するサービスの提供を継続的に実施するための及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画です。令和６年４月１日から策定が義務化されました。当法人では、令和５年９月作成完成し各グループホームに備え付けた。 この計画の基となる各事業所の防災マニュアルは、平成 28 年 5 月に作成後、令和元年 9 月改正時に「防災マニュアル（非常災害対策計画)」に改めるとともに内容改正を行った。同時に各グループホームのマニュアルを策定した。「グループホームの業務継続計画」を提示し説明した。内容省略
（３）入居者の権利擁護	①虐待防止の報告 令和 3 年度報酬改定に伴う運営基準の見直しにより、虐待防止委員会の定期開催と研修の実施及び身体拘束等適性化委員会の定期開催、同指針の整備と研修の実施が令和 4 年度から義務化された。 虐待防止委員会は、当法人虐待防止対応規程に定められており、令和 4 年度に同規程の一部改正を行い法人内に設置し委員も明確化したところであった。身体拘束等適性化に関しては、新たに指針を作成する中で義務化事項を明確にし、虐待防止委員会と一体化する中で運営することとした。 このことによって、法人内における虐待防止を図るため、虐待防止対応及び身体拘束等適性化の周知・研修・解決等に向けた虐待防止の推進を図るところであり、障がい者の権利及び利益を擁護するものである。また、法人内職員に虐待防止早期発見による職員自身のセルフチェックを毎月行っている。 ② 事故、ヒヤリハットの報告 ・令和６年度事業報告書中、「地域生活支援事業報告書の３」. 各入居者の事故等の状況で事故がなかったことを報告。なお、

	令和 5 年度の同様の報告として、４件の事故等が発生していたことを報告。内容省略 ③ 世話人、生活支援員の様子 ・前段の（１）①支援内容の項で報告させていただきましたが、「グループホーム生活支援員の業務内容及び心得」または「共同生活援助日誌」にて説明。 ・休祝日の昼食は、世話人が同行し、近隣のスーパーで購入を基本としている。 ・通院同行、買物支援は職員が行う。 ・入居者の金銭管理（小遣い）は世話人及び職員が行う。 ・ヨシケイ三重の食事メニューを基に調理支援を紹介した。
４．意見交換会	**委　員：**主食は 3 食、ご飯やパンですか。 **職　員：**基本的にご飯です。各ホームで世話人が炊いたものと、味噌汁を作って提供しています。献立には麺類もありまして、ヨシケイ三重から配食されたものを提供しています。 **委　員：**世話人さんの確保はどうですか。一般企業の退職年齢も高くなってきていることもありますが。 **職　員：**確かに段々と定年の年齢は上がってきているのは現実です。世話人は、介護現場（障害福祉）の経験のない方も勤務をされています。今、直接雇用の人は 14 人みえます。この方たちは、一応 65 歳までの定年としていて、65 歳になったらシルバー人材へ移行しています。しかしながら、男性職員が少ない現状であるため、65 歳を越えても直接雇用として残っていただき、定年を延長している方もみえます。 　ただし、雇用する時に 65 歳以上であった場合、その方にはシルバー人材へ行っていただいてからの勤務となります。現在、直接雇用の方とシルバー人材の方との合計は 32 名です。 **委　員：**世話人さんの定年は何歳ですか。 **職　員：**直接雇用をしている方は 65 歳です。シルバー人材の方の定年はあるようで、ないことが現状です。中には 70 歳後半の方もみえ、身体的に厳しい方や記憶力が難しい方も中にはみえますが、その点は個人のニーズに合わせて勤務を組み合わせています。 **委　員：**シルバー人材の方が多い現状だと思いますが、あんまりシルバー人材頼みではね… **職　員：**けれども、知っている人に人伝いで聞いて勤務してもらっている方はみえますが、中々職員は増えていかないの

５．グループホーム訪問による感想・意見	が現状です。 **委　員：**やっぱり、教育を受けている人（福祉分野）はいいですよね。 **職　員：**そうですね、福祉分野（障害福祉、介護福祉、医療関係）を経験してきた方においてはいい面は多いと思いますね。 **入居者代表：**ホーム楽しい。 ・ウイングハート　地域連携推進委員 ・かどやホーム　地域連携推進委員 ・「ま・さ・る‘ず」ホーム　地域連携推進委員 ・ひおかホーム　地域連携推進委員 ・れいんぼーホーム　地域連携推進委員 ① ウイングハート **委　員：**こんにちは。お邪魔しますね。今は何の時間ですか。 **入居者：**こんにちは。今からお風呂に入ってからご飯です。 **委　員：**今日の夕食のメニューは何ですか。 **世話人：**鶏団子のトマト煮です。今から温めるところです。 **委　員：**いいですね。ホームで何か困ったことはありますか。 **入居者：**色々あるけど忘れてしまいました。また聞いてください。 **委　員：**お部屋を見せてもらってもいいですか。きれいに片付いていますね。 **職　員：**週末は世話人さんと一緒に掃除や片付けをされています。 **委　員：**それはいいですね。 ② かどやホーム **委　員：**こんにちは。お邪魔します。このホームは何名が住んでいるんですか。 **入居者：**4 名と世話人さん 1 人です。 **委　員：**いつも何をして過ごしていますか。 **入居者：**テレビを観たり、仕事の話を聞いてもらったりしています。 **委　員：**困っていることはありますか。 **入居者：**特にありません。怪我などしないように気を付けています。 **委　員：**楽しそうに過ごされていますね。何かあれば職員さんに話してくださいね。 ③ ④ひおか、「ま・さ・る‘ず」ホーム **委　員：**各入居者との自己紹介を交わし、皆さん元気な方々であり、以前から団地内でよく見かけていたので、顔と名前

	が一致できました。食事についていかがですか。 **入居者：**美味しい食事ですが、よく食べる人たちが多いので量は少し少なく感じることもあります。 **世話人：**確かに元々の献立量（配達の時点で）は少なく感じるところはあります。平日の調理方法は湯煎、湯煎解凍、レンジで温めることもあります。ただ、1品だけ簡単な調理は必要です。休日の調理方法は、届いた食材を使って調理し、1食分を提供しています。時折、入居者から調理をしたい要望があった際には、世話人が付き添いの下、一緒に調理をすることもあります。 **委　員：**何か困っていることはありますか。 **入居者：**特に困っていることはないです。（各入居者） ⑤ れいんぼーホーム **委　員：**夕食の準備が始まっているが調理方法や利用者支援等について問題はありませんか。 **世話人：**食材配給業者も変わり湯煎、解凍、一部手を加え盛付け程度で手間が掛からない食材となっている。入居者の夕食を摂る時間帯が4人それぞれでその都度用意をしている。食後の食器片付けは入居者が行っている。入浴、洗濯は、ほぼ支援なく行っているが、洗濯ものを室内干しの入所者が多いが天候の良い日は、日差しがある一階サンルームなどに干すよう促している。入居者の内二人は排便、失禁の支援が必要な時があり、適宜支援に取組んでいる状況である。 **委　員：**入居者Aさんに老人施設のデイサービスに通所しているようですが、週何回行っているのですか。また、れいんぼーホームでの生活で困ったことなどはありませんか。 **入居者：**デイサービス週5回行って、毎回お風呂に入って帰ってくる。その後、着替え、夕食、洗濯、ビデオ・テレビを観たりしている。特に困ったことはないかとの問い掛けには、腰が痛い（慢性的な腰痛）と訴えていた。 **委　員：**休みの日はどのように過ごしていますか。 **入居者：**二人の入居者は、お昼を近くのコンビニに買いに行き、ホームで食べ、リビングや部屋でテレビを観るなどして寛いでいる。2カ月に1回、ヘルパー利用でドライブや買い物に連れってもらっている。また、もう一人の利用者は親の墓参りに行きたいと訴えていた。 **委　員：**当日は3名の入居者と面談できたが、自立度が高い方が多く、見守り支援と指導のもと入居者の表情からも普段から安心してグループホームで生活していることが窺う

６．その他	ことができた。 　また、建物も大きな戸建て住宅で庭の手入れやリビング、キッチンも清掃も行き届き、入居者の居室もある程度整理整頓され、１名の居室は、日常余り利用しない物が積まれていたが、それなりに整理された状態であったが、全体的に良い生活環境で生活されている印象を受けた。